



ようちえん評価の結果

1 主な指標の変化

- ① 全保護者による調査の結果、「子どもは幼稚園が好き」という幼児は良く当てはまる、やや当てはまるを含めると96%である。幼稚園生活を楽しく過ごせていた様子が良くわかる。
- ② 「子供は幼稚園の絵本の読み聞かせを楽しみにしている」については96%の幼児が楽しみにしているとなった。今年度より保護者による読み聞かせを実施した成果がみられた。

2 幼稚園教育目標の具現化に向けた指標

- ① 『健康で明るい子』 砂遊びや戸外遊びを自主的に取り組める環境構成の充実に教職員で工夫をこらし取り組んだことにより、外遊び大好き子が育ち、健康で元気な幼児が増えた。特に戸外あそびにおいては個々の目標を持たせた取組の工夫（竹馬・縄跳び等）で達成感や自信へと繋がり保護者への期待にも応える結果になった。
- ② 『きまりを守る子』 登降園時の道路の歩き方や遊具等の安全な使い方等きめ細かく指導にあたった結果、怪我や事故等なく安全に過ごせた。「幼児の安全に関する適切な指導がおこなわれているか」の項目では100%となった。
- ③ 『仲良く遊べる子』 ルールのある戸外遊びやごっこ遊びを充実させるかかわりを重視し環境構成に工夫を盛り込んだことで、友だちと進んで主体的なグループ遊びをする姿が多く見られるようになった。その結果「子どもは好きな友だちがいる」の項目は98%と数値が高い。

3 次年度へ向けての展望

- ① 「子どもは自分の思っていることを先生や友だちに話せる」という項目については、今年度も他の評価項目に比べるとやや数値が低く、パーセントの割合もあまり変化がない。園内では子供達は教師や友達とよく話し生活しているが、「話す」ことの実態を保護者が理解してないように思われることも要因になっている。発表活動やエピソード等知らせていく工夫が必要である。今後も『話す・聞く』の指標が上がるための保育内容や指導法の検討を進めていきたいと考える。
- ② 幼稚園評価の結果を踏まえ、幼稚園運営や教育活動の推進を図っていきたい。

